

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 K 様 邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 中間市 通谷

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じてきますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



胴差し 反り

劣化し雨水を吸って乾いてを繰り返
し、反ってきています。
一度反ると反りは戻らないですの
で、これ以上反りが大きくなる前の
塗装をお勧めします。

状況を見てビスで打ちつけて塗装を
行います。



胴差し

熱や紫外線による劣化や反りが進む
と割れがでてきます。

この部分はシーリング等で補修をお
こない塗装をしていきます。



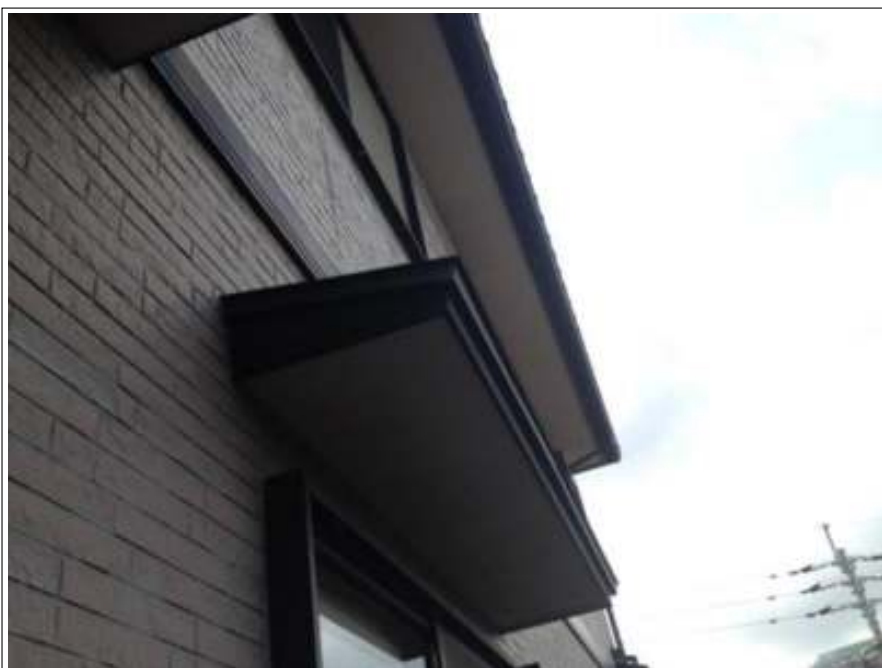
洞差し

この部分はシーリング等で補修をおこなない、浮いている旧塗膜はケレンで除去し下塗をおこない塗装をしていきます。



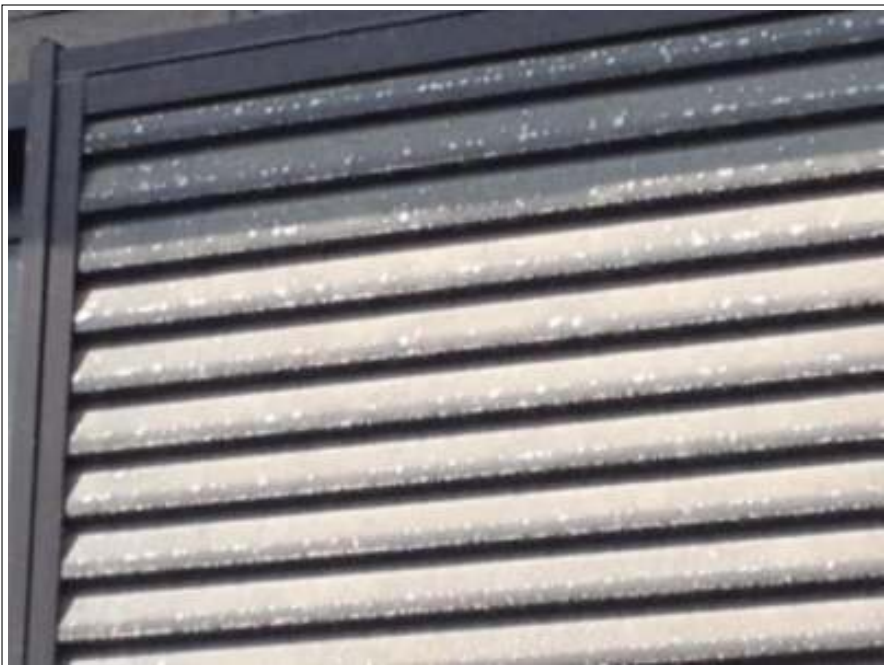
基礎 クラック

コンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することにより中性化し、クラックの発生や内部の鉄筋の腐食が促進され、鉄筋の体積膨張により爆裂等を起こしてしまい構造物全体の寿命や性能低下を生じてしまいます。



小庇

こちらは鉄・スチール素材になります。劣化するとサビが発生し腐食してきますので、早めの塗装をお勧めします。



雨戸

対処方法

サビの発生している部分にいくら塗装をかけてもすぐにサビが表面化してきますので、サビが発生している部分はケレン作業でサビを落とし、サビ止め下塗りを行い塗装をしていきます。



換気フード

同上



土台水切り

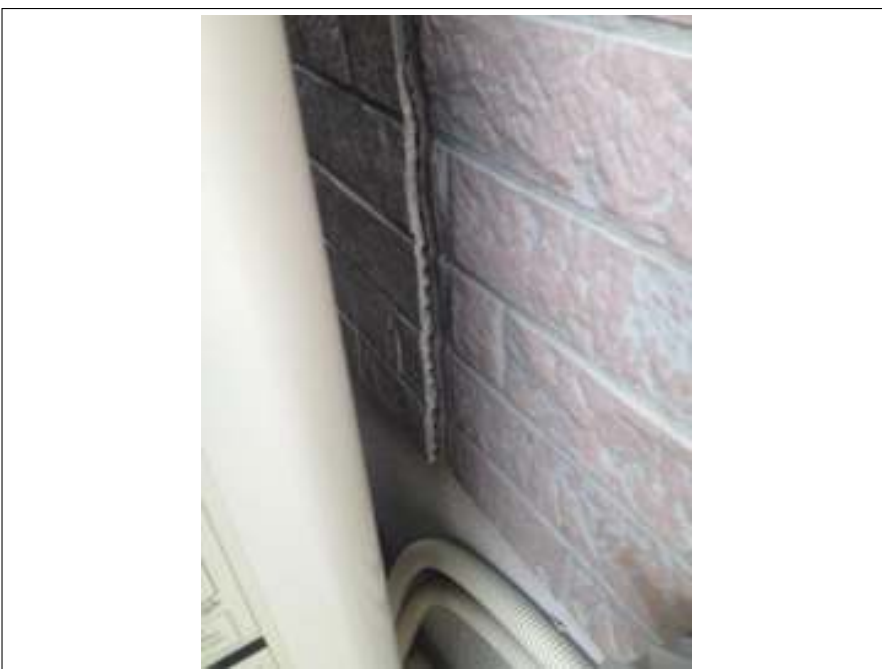
同上



チョーキング現象

塗装表面が紫外線や水分や熱等により、塗装表面の樹脂が劣化しチョーキングの粉状のような現象。

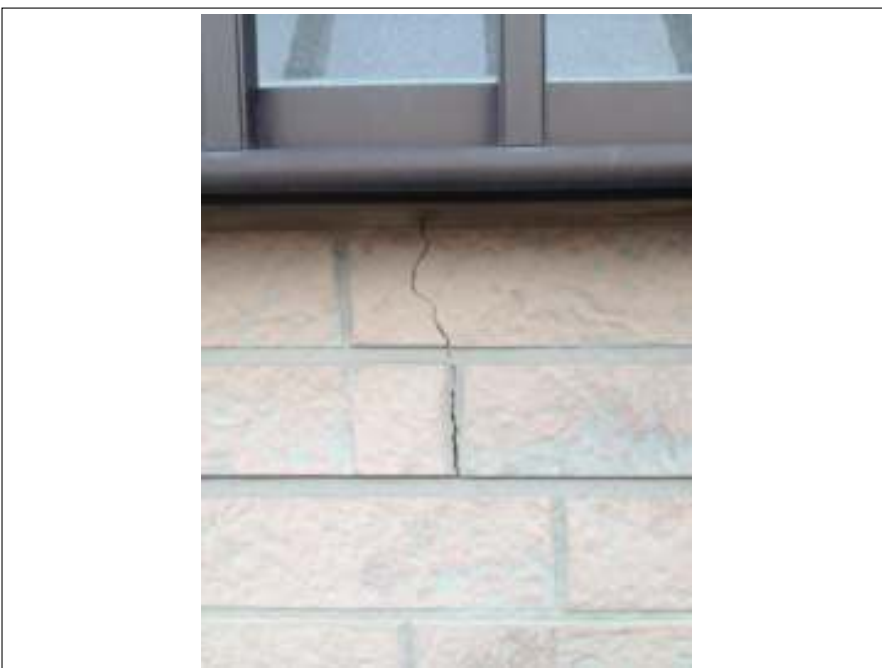
この状態になると表面から雨水や湿気を吸い込む状態になり、外壁材の痛みや躯体の劣化つながりますので早めの塗装をお勧めします。



外壁 反り

塗膜が劣化し雨水を吸って乾いてを繰り返し、外壁材が反ってきています。

一度反ると反りは戻らないですの
で、これ以上反りが大きくなる前の
塗装をお勧めします。



外壁 クラック部

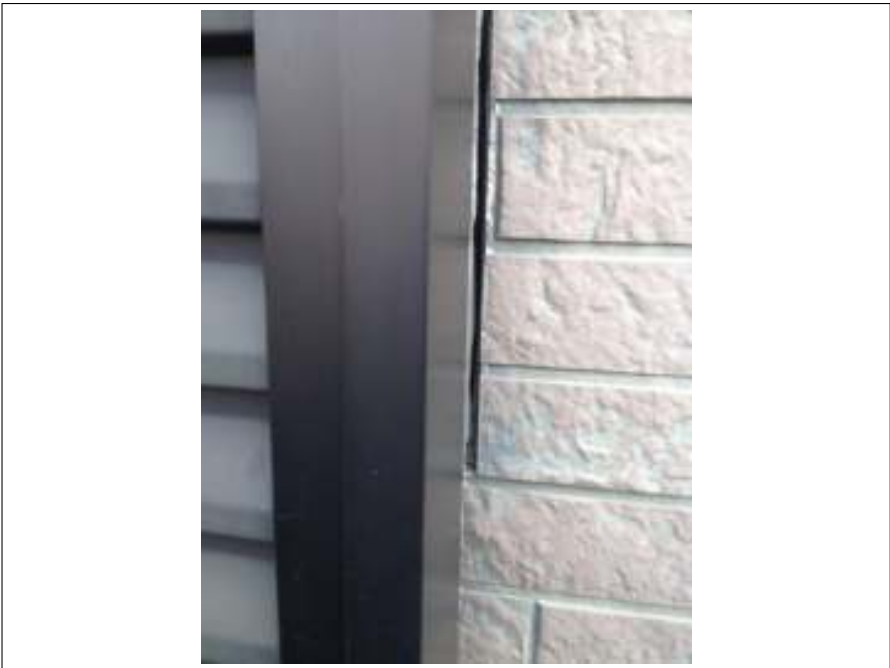
外壁の反りがさらに進むと外壁材の割れがでてきます。

外壁材の痛みや躯体の劣化、お住まいの寿命の低下につながりますので、早め早めの点検・補修・塗装をお勧めします。



サッシ廻り シーリング劣化部

見落としがちですが、この部分からも雨水や湿気が侵入し外壁からの雨漏れにつながりますので、劣化している部分はシーリング打ち増しをおこない、塗装をしていきます。



サッシ廻り シーリング劣化部

かなり深い状態です。
しっかりシーリング充填し、塗装をおこないます。



シーリング劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが侵入してき、外壁材の痛みや躯体の劣化につながりますので、劣化している部分はシーリング打替え・打ち増しをおこない塗装をしていきます。



シーリング劣化部

打ち替え・打ち増しをおこない塗装
をしていきます。



シーリング劣化部

同上



シーリング劣化部

同上
